

対象校No. 924

注4

学校コード F128310108838

注3

設置年度

令和

5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

大手前大学

経営学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人大手前学園

令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総合企画部 総合企画室

職名・氏名 フチャウ オオエシユンジ
部長 大江俊司

電話番号 0798-32-7521

(夜間) 0798-32-5043

e-mail g-ad@otemae.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人大手前学園

(2) 大 学 名 大手前大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒662-8552
兵庫県西宮市御茶家所町6-42

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクイ ヨウ) 福井 要 (平成25年9月)		
学 長	(ヒラノ ミツトシ) 平野 光俊 (令和4年4月)		
学 部 長	(キタムラ マサアキ) 北村 雅昭 (令和5年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 経営学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	170人	2年次 2人 3年次 7人 4年次 0人	700人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	170 () [若干名]	人 () [若干名]	人 () [若干名]	人 () [若干名]	—	1.00倍	—	2年次編入 2人。 3年次編入 7人。
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	558 [15]	— []	524 [24]	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	513 [11]	— []	489 [16]	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	348 [10]	— []	349 [15]	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	186 [7]	— []	170 [9]	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	1.09	—	1.00	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	186 [7] (—)	— [—] (—)	170 [9] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	175 [7] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	186 [7] (—)	— [—] (—)	345 [16] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	人	人	令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	186 人	10 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	10 人	0 人	就学意欲の低下(3人)、他の教育機関への転学(4人)、就職(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、除籍(1人)
令和6年度	345 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		10 人		10 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{186} = \boxed{5.37} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{345} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	ベーシック	キャリアデザインⅠ	1前	2		7	5	1			
		キャリアデザインⅡ	1後	2		7	5	1			
		キャリアデザインⅢ	2前	2		7	5	1			
		キャリアデザインⅣ	2後	2		7	5	1			
		哲学	1前・後	2							1
		史学	1前・後	2							1
		数学	1前・後	2							1
		生命科学	1前・後	2							1
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1							6
		英語Ⅱ	1後	1							6
		ドイツ語Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1							1
		フランス語Ⅰ	1前	1							1
		フランス語Ⅱ	1後	1							1
		中国語Ⅰ	1前	1							1
		中国語Ⅱ	1後	1							1
		韓国語Ⅰ	1前	1							1
		韓国語Ⅱ	1後	1							1
		スペイン語Ⅰ	1前	1							1
		スペイン語Ⅱ	1後	1							1
	情報機器の活用と プレゼンテーション	情報活用Ⅰ	1前	1							6
		情報活用Ⅱ	1後	1							6
		文書作成演習	1前・後	2							1
		表計算演習	1前・後	2							1
		情報機器プレゼンテーション	1前・後	2							1
		プレゼンテーション概論	1前・後	2							1
		プレゼンテーション演習基礎	1前・後	2							1
		日本語表現法	1前・後	2							1
		日本語プレゼンテーション	1前・後	2							1
		保健体育	1・2後	2							1
	スポーツ・健康科目	バレーボール	1・2前	1							1
		バスケットボール	1・2前	1							1
		バドミントン	1・2後	1							1
		フットサル	1・2前	1							1
		軽スポーツ	1・2後	1							1
		レクリエーション&スポーツ	1・2前	1							1
		フィットネス&スポーツ	1・2後	1							1
		コミュニケーション・スポーツ	1・2前	1							1
		ダンス	1・2前	1							1
		ヨーガ&ピラティス実習	1・2前	1							1
		健康ボディアクア実習	1・2後	1							1
		ボディアーク&コミュニケーション実習	1・2前	1							1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	ベーシック	キャリアデザインⅠ	1前	2			3	3	1	1	
		キャリアデザインⅡ	1後	2			3	3	1	1	
		キャリアデザインⅢ	2前	2			4	1	0		2
		キャリアデザインⅣ	2後	2			4	1	0		2
		哲学	1前・後	2							1
		史学	1前・後	2							1
		数学	1前・後	2							1
		生命科学	1前・後	2							1
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1							14
		英語Ⅱ	1後	1							10
		ドイツ語Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1							1
		フランス語Ⅰ	1前	1							1
		フランス語Ⅱ	1後	1							1
		中国語Ⅰ	1前	1							1
		中国語Ⅱ	1後	1							1
		韓国語Ⅰ	1前	1							1
		韓国語Ⅱ	1後	1							1
		スペイン語Ⅰ	1前	1							1
		スペイン語Ⅱ	1後	1							1
	情報機器の活用と プレゼンテーション	情報活用Ⅰ	1前	1				1			9
		情報活用Ⅱ	1後	1				1			7
		表計算演習	1前・後	2							1
		AI・データサイエンスの原	1前・後	2				1			
		情報機器プレゼンテーション	1前・後	2							1
		教養としてのAI・データ活用	1後・2前	2				1			1
		教養としてのAI・データ活用(実践演習)	1後・2前	2				1			1
		プレゼンテーション概論	1前・後	2							1
		プレゼンテーション演習基礎	1前・後	2							1
		日本語プレゼンテーション	1前・後	2							1
	スポーツ・健康科目	保健体育	1・2後	2							1
		バレーボール	1・2前	1							1
		バスケットボール	1・2前	1							1
		バドミントン	1・2後	1							1
		軽スポーツ	1・2後	1							1
		レクリエーション&スポーツ	1・2前	1							1
		フィットネス&スポーツ	1・2後	1							1
		コミュニケーション・スポーツ	1・2前	1							1
		ヨーガ&ピラティス実習	1・2前	1							1
		健康ボディアクア実習	1・2後	1							1
		ボディアーク&コミュニケーション実習	1・2前	1							1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合科目	キャリア アップ 科目	PBL特別演習Ⅰ	1後		4							1	
		PBL特別演習Ⅱ	1後		4							1	
		PBL特別演習Ⅲ	2後		4							1	
		PBL特別演習Ⅳ	2後		4							1	
		Global Career Seminar A 100	1前		2		1					1	
		Global Career Seminar B 200	1後		2		1					1	
		Global Career Seminar C 300	2前		2		1						
		Global Career Seminar D 400	2後		2		1						
		地域貢献PBL	2前		2							2	
		インターンシップ	1前		2			1				1	
	サービスラーニング	2後		2							1		
	職業選択演習	3前		2		1							
	法と 社会	哲学と社会	2後		2							1	
		倫理学	2前		2							1	
		法学	1前・後		2							1	
		日本国憲法	1前・後		2							1	
		民法Ⅰ	2前		2							1	
		民法Ⅱ	2後		2							1	
		行政法	3前		2							1	
		社会科学	1前・後		2		1						
		社会を知る	1前		2							1	
小計（63 科目）			—	10	98	0	8	5	1	0	0	35	
専攻科目	専門 分野	経営	経営学の扉	1前・後	2			7	5	1	1		1
			経営学入門	1後	2			1					
			経営戦略論Ⅰ	2前		2		1					
			経営戦略論Ⅱ	2後		2		1					
			組織行動論	2後		2		1					
			人的資源管理論	3前		2							1
			経営組織論	3前		2		1					
			マネジメント史	3後		2		1					
			アントレプレナーシップ入門	2前		2		1					
			ベンチャー経営論	3前		2							1
			環境経営論	3前		2							1
			生産管理論	2後		2							1
			国際経営論	3後		2							1
			スイーツビジネス	2後		2			1				
			地域産業論	3前		2			1				
	会計	会計学入門	1前	2			1						
		商業簿記Ⅰ	1前		2			1					
		商業簿記Ⅱ	2前		2			1					
		商業簿記Ⅲ	2後		2			1					
		工業簿記	1後		2			1					
		パソコン会計	1後		2			1					
		財務会計論	2前		2		1						
		管理会計論	2後		2		1						
		ファイナンス入門	2後		2		1						
		会計学応用演習	3前		2		1						
		税務会計論	3後		2		1						
		証券投資論	3前		2							1	
		証券投資演習	3後		2								

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科目	キャリアアップ科目	PBL特別演習Ⅰ	1後		4							1		
		PBL特別演習Ⅱ	1後		4							1		
		PBL特別演習Ⅲ	2後		4							1		
		PBL特別演習Ⅳ	2後		4							1		
		Global Career Seminar A	1前		2		0					1		
		Global Career Seminar B	1後		2		0					1		
		Global Career Seminar C	2前		2		1							
		Global Career Seminar D	2後		2		1							
		地域貢献PBL	2前		2							2		
		インターンシップ	1前		2			0				2		
		サービスラーニング	2後		2							1		
		職業選択演習	3前		2			1						
	法と社会	哲学と社会	2後		2							1		
		倫理学	2前		2							1		
		法学	1前・後		2							1		
		日本国憲法	1前・後		2							1		
		民法Ⅰ	2前		2							1		
		民法Ⅱ	2後		2							1		
		行政法	3前		2							1		
		小計（60 科目）			—	10	94	0	8	4	1	1	0	46
		専攻科目	専門分野	経営学の扉	1前・後	2			8	4	1	1		1
経営学入門	1後・2前			2			1							
経営戦略論Ⅰ	2前				2		1							
経営戦略論Ⅱ	2後				2		1							
組織行動論	2後				2		1							
人的資源管理論	3前				2							1		
経営組織論	3前				2		1							
マネジメント史	3後				2		1							
アントレプレナーシップ入門	2前				2		1							
ベンチャー経営論	3前				2							1		
環境経営論	3前				2							1		
生産管理論	2後				2							1		
国際経営論	3後				2							1		
スイーツビジネス	2後				2			0				1		
地域産業論	3前				2			0				1		
会計	会計学入門		1前・後	2			1							
	商業簿記Ⅰ		1前		2			1						
	商業簿記Ⅱ		2前		2			1						
	商業簿記Ⅲ		2後		2			1						
	工業簿記		1後		2			1						
	パソコン会計		1後		2			1						
	財務会計論		2前		2		1							
	管理会計論		2後		2		1							
	ファイナンス入門		2後		2		1							
	会計学応用演習		3前		2		1							
	税務会計論		3後		2		1							
	証券投資論		3前		2							1		
	証券投資演習		3後		2							1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 数	助 手	
専攻科目	専門分野	マーケティング	マーケティング入門	1後	2			1				
			マーケティング戦略論	2前	2			1				
			マーケティングリサーチⅠ	2前	2		1					
			マーケティングリサーチⅡ	2後	2		1					
			消費者行動論	2前	2			1				
			食のマーケティング	2前	2					1		
			ファッションマーケティング	2後	2			1				
			サービス経営	2後	2					1		
			商品企画論	3前	2					1		
			ブランド論	3前	2			1				
			流通マーケティング	3後	2					1		
			デジタルマーケティングⅠ	3前	2		1					
			デジタルマーケティングⅡ	3後	2		1					
			クリエイティブマーケティング演習Ⅰ	3前	2		1	1				
			クリエイティブマーケティング演習Ⅱ	3後	2		1	1				
	デジタルビジネス	デジタル社会とテクノロジー	1前	2			1					
		コンピュータ技術	1後	2							1	
		経営と情報システム	2前	2							1	
		ビジネス情報処理Ⅰ	2前	2							1	
		ビジネス情報処理Ⅱ	2後	2							1	
		課題解決のためのデジタル活用Ⅰ	3前	2		1						
		課題解決のためのデジタル活用Ⅱ	3後	2		1						
		デジタル経営論	3後	2		1						
		社会におけるデータ・AI活用	1前・後	2			1					
		ビジネスの数字を読む	1前	2							1	
		データの分析と活用Ⅰ	2前	2			1					
		データの分析と活用Ⅱ	2後	2			1					
		データサイエンスⅠ	3前	2			1					
		データサイエンスⅡ	3後	2			1					
		いきいきキャリア	働くことを考えるⅠ	1前・後	2					1		
	働くことを考えるⅡ		1後	2		2	1					
	名著・名作から人生を考える		1後	2		2	1					
	キャリア形成と社会		2前	2		2			1			
	キャリアアトラクション論		2前	2		2					1	
	キャリアの心理学		2後	2		2	1					
	仕事と職場の心理学		2後	2		2					1	
キャリアカウンセリングⅠ	3前		2		2	1						
キャリアカウンセリングⅡ	3後		2		2	1						
企業内キャリア開発	3後		2		2						1	
ライフコースの心理学	3前		2		2						1	
キャリアモデル事例研究	3前		2		2			1				
働くことの哲学	3後		2		2						1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専攻科目	マーケティング	マーケティング入門	1前・後	2				1		1		
		マーケティング戦略論	2前	2			1					
		マーケティングリサーチⅠ	2前	2			1					
		マーケティングリサーチⅡ	2後	2			1					
		消費者行動論	2前	2				1				
		食のマーケティング	2前	2						1		
		ファッションマーケティング	2前	2				1				
		サービス経営	2後	2						1		
		商品企画論	3前	2						1		
		ブランド論	3前	2				1				
		流通マーケティング	3後	2						1		
		デジタルマーケティングⅠ	3前	2			1					
		デジタルマーケティングⅡ	3後	2			1					
		クリエイティブマーケティング演習Ⅰ	3前	2			1	1				
		クリエイティブマーケティング演習Ⅱ	3後	2			1	1				
	デジタルビジネス	デジタル社会とテックノロジー	1前・後	2				1				
		コンピュータ技術	1後	2					1			0
		経営と情報システム	1後	2				1				0
		ビジネス情報処理Ⅰ	2前	2					1			0
		ビジネス情報処理Ⅱ	2後	2					1			0
		課題解決のためのデジタル活用Ⅰ	3前	2			1					
		課題解決のためのデジタル活用Ⅱ	3後	2			1					
		デジタル経営論	3後	2			1					
		社会におけるデータ・AI活用	1前・後	2					1			
		ビジネスの数字を読む	1後	2								1
		データの分析と活用Ⅰ	2前	2					1			
		データの分析と活用Ⅱ	2後	2					1			
		データサイエンスⅠ	3前	2					1			
		データサイエンスⅡ	3後	2					1			
		いきいきキャリア	働くことを考えるⅠ	1前	2					1		
	働くことを考えるⅡ		1後	2				1				
	名著・名作から人生を考える		1後	2				1				
	キャリア形成と社会		2前	2					1			
	キャリアアトラクション論		2前	2								1
	キャリアの心理学		2後	2				1				
	仕事と職場の心理学		2後	2								1
キャリアカウンセリングⅠ	3前		2				1					
キャリアカウンセリングⅡ	3後		2				1					
企業内キャリア開発	3後		2								1	
ライフコースの心理学	3前	2								1		
キャリアモデル事例研究	3前	2						1				
働くことの哲学	3後	2										

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専攻科目	専門 共通	ロジカルシンキング	1前		2				1				
		ビジネス法の基礎	2後		2							1	
		経済学入門	2後		2		1						
		ミクロ経済学	3前		2		1						
		経営現場で起こる諸問題	2前		2							1	
		日本経営史	3後		2							1	
		Business English	2前		2		1						
		Cross Cultural Communication	2後		2		1						
	人間 力	人間関係トレーニング	1前		2							2	
		リーダーシップと問題解決	1後		2		1					1	
		職場コミュニケーション	2前		2				1			1	
		デザイン思考	2後		2		1					1	
	実践 科目	フィールドスタディⅠ	1前		2		1	2					
		フィールドスタディⅡ	1後		2		1	2	1				
		フィールドスタディⅢ	3前		2			1					
		実践演習（経営Ⅰ）	3前		2		1						
		実践演習（経営Ⅱ）	3前		2		1						
		実践演習（会計Ⅰ）	2後		2			1					
		実践演習（会計Ⅱ）	3前		2		1						
		実践演習（マーケティングⅠ）	2前		2					1			
		実践演習（マーケティングⅡ）	2後		2			1					
		実践演習（デジタルⅠ）	3前		2							1	
		実践演習（デジタルⅡ）	3後		2			1					
		実践演習（キャリアⅠ）	2後		2				1				
		実践演習（キャリアⅡ）	3後		2		1						
	研 究 合 合	ゼミナールⅠ	3前	2			7	5	1				
		ゼミナールⅡ	3後	2			7	5	1				
		卒業研究	4通	4			7	5	1				
小計（98科目）			—	20	178	0	8	5	1	1	0	19	
合計（161科目）			—	30	276	0	8	5	1	1	0	51	
卒業要件及び履修方法													
・ 総合科目から必修科目10単位を修得すること。 ・ 専攻科目から必修科目20単位（総合研究8単位を含む）を含め74単位以上を修得すること。 このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含むものとする。 ・ 上記要件を満たした上で、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：20単位/学期 ※前学期G P Aにより要件緩和)													

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	専門共通	ロジカルシンキング	1前		2				1				
		ビジネス法の基礎	2後		2							1	
		経済学入門	2後		2		1						
		ミクロ経済学	3前		2		1						
		経営現場で起こる諸問題	2前		2							1	
		日本経営史	3後		2							1	
		Business English	2前		2		1						
		Cross Cultural Communication	2後		2		1						
	人間力科目	人間関係トレーニング	1前		2							2	
		リーダーシップと問題解決	1後		2		1					1	
		職場コミュニケーション	2前		2				1			1	
		デザイン思考	2後		2		1					1	
	実践科目	フィールドスタディⅠ	1前		2		1	1					
		フィールドスタディⅡ	1後		2		1	0	1				
		フィールドスタディⅢ	1前		2		1	0					
		実践演習（経営Ⅰ）	2前		2		1						
		実践演習（経営Ⅱ）	3前		2		1						
		実践演習（会計Ⅰ）	2後		2			1					
		実践演習（会計Ⅱ）	2後		2		1						
		実践演習（マーケティングⅠ）	1後		2		1	2		1			
		実践演習（マーケティングⅡ）	2後		2			1					
		実践演習（デジタルⅠ）	3前		2							1	
		実践演習（デジタルⅡ）	3後		2			1					
		実践演習（キャリアⅠ）	2前		2				1				
		実践演習（キャリアⅡ）	2後		2		1						
	研究総合	ゼミナールⅠ	3前	2			7	3	1				
		ゼミナールⅡ	3後	2			7	3	1				
		卒業研究	4通	4			7	3	1				
小計（98科目）			—	20	178	0	8	4	1	1	0	19	
合計（158科目）			—	30	272	0	8	4	1	1	0	65	
卒業要件及び履修方法													
・ 総合科目から必修科目10単位を修得すること。 ・ 専攻科目から必修科目20単位（総合研究8単位を含む）を含め74単位以上を修得すること。 このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含むものとする。 ・ 上記要件を満たした上で、合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：20単位/学期 ※前学期GPAにより要件緩和)													

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	ベーシック	キャリアデザインⅠ	1前	2			7	5	1		
		キャリアデザインⅡ	1後	2			7	5	1		
		キャリアデザインⅢ	2前	2			7	5	1		
		キャリアデザインⅣ	2後	2			7	5	1		
		哲学	1前・後	2							1
		史学	1前・後	2							1
		数学	1前・後	2							1
		生命科学	1前・後	2							1
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1							6
		英語Ⅱ	1後	1							6
		ドイツ語Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1							1
		フランス語Ⅰ	1前	1							1
		フランス語Ⅱ	1後	1							1
		中国語Ⅰ	1前	1							1
		中国語Ⅱ	1後	1							1
		韓国語Ⅰ	1前	1							1
		韓国語Ⅱ	1後	1							1
		スペイン語Ⅰ	1前	1							1
		スペイン語Ⅱ	1後	1							1
	情報機器の活用と プレゼンテーション	情報活用Ⅰ	1前	1							6
		情報活用Ⅱ	1後	1							6
		表計算演習	1前・後	2							1
		AI・データサイエンスの原	1前・後	2			1				1
		情報機器プレゼンテーション	1前・後	2							1
		職業としてのAI・データ活用	1後	2			1				1
		職業としてのAI・データ活用(実践演習)	1後	2			1				1
		プレゼンテーション概論	1前・後	2							1
		プレゼンテーション演習基礎	1前・後	2							1
		日本語プレゼンテーション	1前・後	2							1
	スポーツ・健康科目	保健体育	1・2後	2							1
		バレーボール	1・2前	1							1
		バスケットボール	1・2前	1							1
		バドミントン	1・2後	1							1
		軽スポーツ	1・2後	1							1
		レクリエーション&スポーツ	1・2前	1							1
		フィットネス&スポーツ	1・2後	1							1
		コミュニケーション・スポーツ	1・2前	1							1
		ヨガ&ピラティス実習	1・2前	1							1
		健康ボディケア実習	1・2後	1							1
		ボディアワーク&コミュニケーション実習	1・2前	1							1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	キャリア アップ 科目	PBL特別演習Ⅰ	1後		4							1
		PBL特別演習Ⅱ	1後		4							1
		PBL特別演習Ⅲ	2後		4							1
		PBL特別演習Ⅳ	2後		4							1
		Global Career Seminar A	1前		2		0					1
		Global Career Seminar B	1後		2		0					1
		Global Career Seminar C	2前		2			1				
		Global Career Seminar D	2後		2			1				
		地域貢献PBL	2前		2							2
		インターンシップ	1前		2			0				1
		サービスラーニング	2後		2							1
		職業選択演習	3前		2		1					
	法と 社会	哲学と社会	2後		2							1
		倫理学	2前		2							1
		法学	1前・後		2							1
		日本国憲法	1前・後		2							1
		民法Ⅰ	2前		2							1
		民法Ⅱ	2後		2							1
		行政法	3前		2							1
		小計（60 科目）			—	10	94	0	7	6	1	0
専攻科目	専門 分野	経営学の扉	1前・後	2			7	5	1	1		1
		経営学入門	1後	2			1					
		経営戦略論Ⅰ	2前		2		1					
		経営戦略論Ⅱ	2後		2		1					
		組織行動論	2後		2		1					
		人的資源管理論	3前		2							1
		経営組織論	3前		2		1					
		マネジメント史	3後		2		1					
		アントレプレナーシップ入門	2前		2		1					
		ベンチャー経営論	3前		2							1
		環境経営論	3前		2							1
		生産管理論	2後		2							1
		国際経営論	3後		2							1
		スイーツビジネス	2後		2			1				
		地域産業論	3前		2			1				
	会 計	会計学入門	1前・後	2			1					
		商業簿記Ⅰ	1前		2			1				
		商業簿記Ⅱ	2前		2			1				
		商業簿記Ⅲ	2後		2			1				
		工業簿記	1後		2			1				
		パソコン会計	1後		2			1				
		財務会計論	2前		2		1					
		管理会計論	2後		2		1					
		ファイナンス入門	2後		2		1					
		会計学応用演習	3前		2		1					
		税務会計論	3後		2		1					1
		証券投資論	3前		2							
		証券投資演習	3後		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
			修	修	修	修	修	修	修	修	
専攻科目	マーケティング	マーケティング入門	1前・後	2			1		1		
		マーケティング戦略論	2前	2			1				
		マーケティングリサーチⅠ	2前	2		1					
		マーケティングリサーチⅡ	2後	2		1					
		消費者行動論	2前	2			1				
		食のマーケティング	2前	2					1		
		ファッションマーケティング	2後	2			1				
		サービス経営	2後	2					1		
		商品企画論	3前	2					1		
		ブランド論	3前	2			1				
		流通マーケティング	3後	2					1		
		デジタルマーケティングⅠ	3前	2		1					
	デジタルビジネス	デジタルマーケティングⅡ	3後	2		1					
		クリエイティブマーケティング演習Ⅰ	3前	2		1	1				
		クリエイティブマーケティング演習Ⅱ	3後	2		1	1				
		デジタル社会とテクノロジー	1前・後	2			1				
		コンピュータ技術	1後	2				1			
		経営と情報システム	2前	2							1
		ビジネス情報処理Ⅰ	2前	2							1
		ビジネス情報処理Ⅱ	2後	2							1
		課題解決のためのデジタル活用Ⅰ	3前	2		1					
		課題解決のためのデジタル活用Ⅱ	3後	2		1					
		デジタル経営論	3後	2		1					
	いきいきキャリア	社会におけるデータ・AI活用	1前・後	2				1			
		ビジネスの数字を読む	1前	2							1
		データの分析と活用Ⅰ	2前	2				1			
		データの分析と活用Ⅱ	2後	2				1			
		データサイエンスⅠ	3前	2				1			
		データサイエンスⅡ	3後	2				1			
		働くことを考えるⅠ	1前	2				1			0
		働くことを考えるⅡ	1後	2		1					
		名著・名作から人生を考える	1後	2		1					
		キャリア形成と社会	2前	2				1			
		キャリアアトラクション論	2前	2							1
		キャリアの心理学	2後	2		1					
		仕事と職場の心理学	2後	2							1
		キャリアカウンセリングⅠ	3前	2		1					
		キャリアカウンセリングⅡ	3後	2		1					
		企業内キャリア開発	3後	2							1
		ライフコースの心理学	3前	2							1
		キャリアモデル事例研究	3前	2				1			
		働くことの哲学	3後	2							1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 数	助 手		
専攻科目	専門共通	ロジカルシンキング	1前		2				1				
		ビジネス法の基礎	2後		2							1	
		経済学入門	2後		2		1						
		ミクロ経済学	3前		2		1						
		経営現場で起こる諸問題	2前		2							1	
		日本経営史	3後		2							1	
		Business English	2前		2				1				
		Cross Cultural Communication	2後		2				1				
	人間力 科目	人間関係トレーニング	1前		2							2	
		リーダーシップと問題解決	1後		2		1					1	
		職場コミュニケーション	2前		2				1			1	
		デザイン思考	2後		2		1					1	
	実践科目	フィールドスタディⅠ	1前		2		1	1					
		フィールドスタディⅡ	1後		2		1	1	1				
		フィールドスタディⅢ	3前		2			1					
		実践演習(経営Ⅰ)	3前		2		1						
		実践演習(経営Ⅱ)	3前		2		1						
		実践演習(会計Ⅰ)	2後		2			1					
		実践演習(会計Ⅱ)	3前		2		1						
		実践演習(マーケティングⅠ)	1後		2		1	2		1			
		実践演習(マーケティングⅡ)	2後		2			1					
		実践演習(デジタルⅠ)	3前		2							1	
		実践演習(デジタルⅡ)	3後		2			1					
		実践演習(キャリアⅠ)	2後		2				1				
		実践演習(キャリアⅡ)	3後		2		1						
	総合 研究 合	ゼミナールⅠ	3前	2			7	5	1				
		ゼミナールⅡ	3後	2			7	5	1				
		卒業研究	4通	4			7	5	1				
小計(98科目)			—	20	178	0	7	6	1	1	0	18	
合計(158科目)			—	30	272	0	7	6	1	1	0	48	
卒業要件及び履修方法													
・総合科目から必修科目10単位を修得すること。 ・専攻科目から必修科目20単位(総合研究8単位を含む)を含め74単位以上を修得すること。 このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含むものとする。 ・上記要件を満たした上で、合計124単位以上を修得すること。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

・教育課程充実のため、総合科目に「AI・データサイエンスの扉」を追加し、「准教授1」を配置。
 ・教育課程充実のため、総合科目に「教養としてのAI・データ活用」を追加し、「准教授1」「兼任・兼任1」を配置。
 ・教育課程充実のため、総合科目に「教養としてのAI・データ活用（実践演習）」を追加し「准教授1」「兼任・兼任1」を配置。
 ・本学が示すレベルナンバーとの整合性を図るため「Global Career Seminar A 100」の名称を「Global Career Seminar A」に変更し、教員間の調整により専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・本学が示すレベルナンバーとの整合性を図るため「Global Career Seminar B 200」の名称を「Global Career Seminar B」に変更し、教員間の調整により専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・本学が示すレベルナンバーとの整合性を図るため「Global Career Seminar C 300」の名称を「Global Career Seminar C」に変更し、担当教員の職名変更により専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 ・本学が示すレベルナンバーとの整合性を図るため「Global Career Seminar D 400」の名称を「Global Career Seminar D」に変更し、担当教員の職名変更により専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 ・教員間の調整により「インターンシップ」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・開講クラス数増設のため、「会計学入門」の配当年次を「1前・後」に変更。
 ・開講クラス数増設のため、「マーケティング入門」の配当年次を「1前・後」に変更し、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「助教1」に変更。
 ・開講クラス数増設のため、「デジタル社会とテクノロジー」の配当年次を「1前・後」に変更。
 ・教員間の調整により「コンピュータ技術」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
 ・開講クラス数調整のため「働くことを考えるⅠ」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更し、専任教員等の配置を「講師1」「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
 ・「Business English」担当教員の職名変更により、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 ・「Cross Cultural Communication」担当教員の職名変更により、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 ・教員間の調整により「フィールドスタディⅠ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
 ・教員間の調整により「フィールドスタディⅡ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
 ・教育効果を高めるため「実践演習（マーケティングⅠ）」の配当年次を「2前」から「1後」に変更し、専任教員等の配置に「教授1」「准教授2」を追加。

【令和6年度】

・教員間の調整により「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授3」、「准教授5」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」に変更。
 ・教員間の調整により「キャリアデザインⅢ」「キャリアデザインⅣ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授4」、「准教授5」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・総合科目の学部間人数調整のため「英語Ⅰ」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任14」に変更。
 ・総合科目の学部間人数調整のため「英語Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更。
 ・総合科目の学部間人数調整のため「情報活用Ⅰ」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
 ・総合科目の学部間人数調整のため「情報活用Ⅱ」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
 ・開講クラス数増設のため「教養としてのAI・データ活用」の配当年次を「1後」から「1後・2前」に変更。
 ・開講クラス数増設のため「教養としてのAI・データ活用（実践演習）」の配当年次を「1後」から「1後・2前」に変更。
 ・担当教員の職位変更により「Global Career Seminar C」「Global Career Seminar D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・開講クラス数増設のため「インターンシップ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・教員間の調整により「経営学の扉」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授5」から「准教授4」に変更。
 ・開講クラス数増設のため「経営学入門」の配当年次を「1後」から「1後・2前」に変更。
 ・担当教員職位変更により「スイーツビジネス」「地域産業論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
 ・教育効果を高めるため「ファッションマーケティング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 ・教育効果を高めるため「経営と情報システム」の配当年次を「2前」から「1後」に変更し、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
 ・教員間の調整により「ビジネス情報処理Ⅰ」「ビジネス情報処理Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
 ・教育効果を高めるため「ビジネスの数字を読む」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
 ・担当教員の職位変更により「Business English」「Cross Cultural Communication」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・専任教員退職のため「フィールドスタディⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 ・教育効果を高めるため「フィールドスタディⅢ」の配当年次を「3前」から「1前」に変更し、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 ・教育効果を高めるため「実践演習（経営Ⅰ）」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
 ・教育効果を高めるため「実践演習（会計Ⅱ）」の配当年次を「3前」から「2後」に変更。
 ・教育効果を高めるため「実践演習（キャリアⅠ）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 ・教育効果を高めるため「実践演習（キャリアⅡ）」の配当年次を「3後」から「2後」に変更。
 ・専任教員退職、他学部編成調整による異動のため「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」および「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授3」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	146 科目	0 科目	161 科目	15 科目 [ー]	143 科目 [△3]	0 科目 [ー]	158 科目 [△3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	文書作成演習	2	1前・後	一般	選択	総合科目カリキュラムの構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
2	日本語表現法	2	1前・後	一般	選択	総合科目カリキュラムの構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
3	フットサル	1	1・2前	一般	選択	総合科目カリキュラムの構成見直しにより廃止。
4	ダンス	1	1・2前	一般	選択	総合科目カリキュラムの構成見直しにより廃止。
5	社会科学	2	1前・後	一般	選択	総合科目カリキュラムの構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
6	社会を知る	2	1前	一般	選択	総合科目カリキュラムの構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目はすべて全学部学生が自由に選択できる科目として開講している「総合科目」の科目であり、この度、全学部的なカリキュラム構成の見直しのため、廃止となったものである。一方、情報・リテラシーに関する科目等を増設して開講し、教育の充実を図っている。
 なお、学生に対しては、各種オリエンテーションや掲示板等により、適切に周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{6}{161} = \boxed{3.72} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大手前短期大学（必要 面積5,400㎡）と共用			
	校 舎 敷 地	10,246.76㎡	26,124.08㎡ 26,124.38㎡	0㎡	36,370.84㎡ 36,371.14㎡	近接地購入・売却・面 積訂正（5）			
	運動場用地	0㎡	20,609.47㎡	0㎡	20,609.47㎡	校舎敷地と別地：学園 バスにて15分			
	小 計	10,246.76㎡	46,733.55㎡ 46,733.85㎡	0㎡	56,980.31㎡ 56,980.61㎡				
	そ の 他	416.56㎡	3,865.66㎡ 3,279.62㎡	0㎡	4,282.22㎡ 3,696.18㎡				
	合 計	10,663.32㎡	50,599.21㎡ 50,013.47㎡	0㎡	61,262.53㎡ 60,676.79㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大手前短期大学（必要 面積5,100㎡）と共用 新築工事の面積確定の ため（5） 新築工事の面積確定の ため（6）				
				42,534.15㎡					
				42,519.33㎡					
				42,516.60㎡					
		(25,453.91㎡)	(14,247.65㎡)	2,832.59㎡	(41,332.33㎡)				
		(25,451.18㎡)	(13,045.83㎡)	(2,832.59㎡)	(41,329.60㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	65室 67室 66室	27室 28室	49室 50室	5室 7室 (補助職員 — 人)	— 室 (補助職員 — 人)	大学全体 用途変更のため(5) 教室一体化等のため (6)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		共同研究室5室を含む 用途変更のため（6）			
		大学全体		133 132 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 のため大学全体の数 (5) (6) データベースの新規契 約により学術雑誌数増 加(5) データベースの一部、 並びに視聴覚資料（カ セットテープ、ビデオ テープ）を整理・削減 (6)	
	経営学部 経営学科	361,718 [59,519] (376,921 [59,424]) (373,790 [59,337]) (343,941 [58,114])	12,607 [9,293] (195,523 [12,098]) (220,102 [11,825]) (12,607 [9,293])	10,518 [9,049] (195,165 [12,058]) (219,707 [11,782]) (10,518 [9,049])	9,617 (6,975) (7,152) (8,735)	3,789 (3,958) (3,690) (3,789)	71 (73) (71)		
	計	361,718 [59,519] (376,921 [59,424]) (373,790 [59,337]) (343,941 [58,114])	12,607 [9,293] (195,523 [12,098]) (220,102 [11,825]) (12,607 [9,293])	10,518 [9,049] (195,165 [12,058]) (219,707 [11,782]) (10,518 [9,049])	9,617 (6,975) (7,152) (8,735)	3,789 (3,958) (3,690) (3,789)	71 (73) (71)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		3,620.52㎡	408 348		235,945 220,566				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		1,290.79㎡	陸上トラック・テニスコート・弓道場・ゴルフ練習場・ジム						
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の概要	経費の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 （図書購入費には、電 子ジャーナル・デー タベースの整備費（運用 コスト含む）を含む
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	26,749千円 40,551千円	18,878千円 31,500千円	36,000千円	
		共 同 研 究 費 等	1,600千円	1,600千円	設備購入費	123,266千円 220,061千円	326,730千円 200,000千円	100,000千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,290千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において 赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	大 手 前 大 学								収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考	
国際日本学部 国際日本学科	4	160	2年次 4 3年次 2	716	学士 (学術)	0.90	-	-	平成19	兵庫県西宮市 御茶家所町6-42	令和5年度から入学定員変更(190→160)	
建築&芸術学部 建築&芸術学科	4	170	2年次 4 3年次 2	716	学士 (学術)	1.13	1.09	-	平成19	同上	令和5年度から入学定員変更(180→170)	
現代社会学部 現代社会学科	4	200	2年次 4 3年次 2	856	学士 (学術)	1.06	1.03	-	平成19	同上	令和5年度から入学定員変更(220→200)	
健康栄養学部 管理栄養学科	4	80	3年次 16	352	学士 (栄養学)	0.95	-	-	平成28	大阪市中央区 大手前2-1-88		
国際看護学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.08	1.08	-	平成31	同上		
経営学部 経営学科	4	170	2年次 2 3年次 7	342	学士 (経営学)	1.00	-	-	令和5	兵庫県西宮市 御茶家所町6-42		
現代社会学部 現代社会学科 (通信教育課程)	4	500	3年次 500	3,000	学士 (学術)	1.12	0.79	-	平成22	同上		
大学全体	-	1,360	2年次 14 3年次 529	6,302	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
■施設・設備 [新K棟の建築計画] 令和5年9月竣工予定	[新K棟の竣工、稼働状況] 新K棟は令和6年3月に竣工し、令和6年4月1日以降、講義等で使用している。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制				
a 委員会の設置状況				
本学FD委員会は、副学長を委員長とし各学部より選出され教学運営評議会にて承認された教員若干名で組織されている。				
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）				
2023年度の本委員会の開催状況は下記のとおりである。				
第1回	2023年 4月11日(火)	出席委員 9名	欠席委員 4名	担当事務局 1名
第2回	2023年 5月16日(火)	出席委員 12名	欠席委員 1名	担当事務局 1名
第3回	2023年 7月11日(火)	出席委員 11名	欠席委員 2名	担当事務局 1名
第4回	2023年 9月12日(火)	出席委員 10名	欠席委員 3名	担当事務局 1名
第5回	2023年10月10日(火)	出席委員 12名	欠席委員 1名	担当事務局 1名
第6回	2023年11月14日(火)	出席委員 11名	欠席委員 2名	担当事務局 1名
第7回	2024年 1月16日(火)	出席委員 11名	欠席委員 2名	担当事務局 1名
第8回	2024年 2月13日(火)	出席委員 10名	欠席委員 3名	担当事務局 1名
第9回	2024年 3月12日(火)	出席委員 11名	欠席委員 2名	担当事務局 1名
c 委員会の審議事項等				
・ 2023年度のFDの運営について ・ FD活動の活性化について ・ 国際看護学部のFDについて ・ 学外公開FDについて ・ 次年度FDおよびFD委員について				

② 実施状況

a 実施内容

- ① 教員相互の授業見学、ティーチングポートフォリオ
- ② 専任教員対象 F D
- ③ 教員・職員対象 F S D
- ④ 職員研修への参加 S D

b 実施方法

① 教員相互の授業見学

毎年度、春学期もしくは秋学期の3週間を設定し、専任教員及び非常勤講師が相互に授業を見学し、気づいた点や参考になった点等をお互いが報告し、様々な授業を見学することにより、また、見学されることにより、学生に対してより良い授業となるよう教員が自ら授業改善するようにしている。

なお2022年度からは、より良い授業となるようティーチングポートフォリオの作成をおこなっており、2023年度からは大学Webサイトにて学内外に向け公表している。

②～④ 専任教員対象 F D、教員・職員対象 F S D、職員研修への参加 S D

毎月教授会終了後の1コマを F D 実施用の時間として年間確保している。原則この時間は確保されており F D 委員会にて協議し、テーマを設定した課題にて、F D を開催している。

なお、国際看護学部では、学部においても開設時より独自の F D を実施しており、1. 多様な文化・多様性への理解・受容を深め、教育能力の向上を目指す、2. 本学部の目指す看護教育を全学部教員が共通認識をしたうえで、授業の具現化に向けた教育の質保証・向上につなげる、等为目标に挙げ実施した。

職員研修(S D)に関しても、執行部の教員に対して参加を依頼し教職協働の相互理解のもと、より幅広い理解と様々な学修支援を実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2023年	4月 18日(火)	「大手前大学ビジョン2030について」	129名
2023年	5月 23日(火)	「教育研究におけるICT利用について」	100名
2023年	6月 13日(火)	「科研費申請について」	90名
2023年	6月 20日(火)	「アセスメントテスト（PROG）の分析報告」	108名
2023年	7月 18日(火)	「2022年度学園決算と学園の課題」	110名
2023年	7月 21日(火)	「私学助成について」（FSDとして開催）	115名
2023年	9月 19日(火)	「教育ボランティア面談と大手前プレゼンフェスタについて」	95名
2023年	11月 21日(火)	「授業アンケートと授業改善について考える」	115名
2023年	12月 12日(火)	「大手前大学ビジョン2030中間報告」	102名
2023年	12月 19日(火)	「2023年度プレゼンフェスタ開催について」	100名
2024年	2月 20日(火)	「新アセスメントの取り組みについて」	102名
2024年	3月 18日(火)	「大手前大学ビジョン2030 第3回中間報告 ～学部・通信教育課程ビジョンについて～」	100名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「教員相互の授業見学」については、目的や視点について案内文に明確に表示し報告書の様式も変更している。2023年度の授業見学期間は春学期の5月末から6月中旬までとした。なお、前述のとおり2022年度から、より良い授業となるようティーチングポートフォリオの作成をおこなっている。

本学では、教授会終了後に確保しているFD時間を有効に活用し、定例のFDを開催し、学修者にとってより良き授業となるよう、学修者を中心とし理解できる授業運営のFDを頻繁に行い、専任教員及び非常勤講師とが一緒になり授業改善へ取り組んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年春学期と秋学期に全科目を対象として「授業アンケート」を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

「学生による授業アンケート」を実施し、全科目に対する項目回答及び自由記述において、学生の意見も聴取している。アンケート結果については、集計し、各教員へフィードバックするとともに、自由記述等に対して教員はコメントを入力するようになっている。

今後も、アンケート結果を検証し、授業をより良いものへと発展させていくよう検討を進めていく。

集計後は総合学修システム（el-Campus）により教職員・学生に授業アンケート結果を公開している。

なお、アンケートの集計結果を本学Webサイト上にも公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設1年目（令和5年度）については、計画していた授業内容や学部運営の基盤づくりを予定通り実行することができた。また本年度の入試においても、アドミッション・ポリシーにもとづき入学者選抜を行った結果、入学定員170人に対し同数の170人の学生が入学したことは、本学部学科の特色が評価されたものと判断できる。今後も、設置の趣旨に記載した経営学部の理念に従い、教育・研究の両面に力を注ぎ、設置計画を着実に履行していくため不断の努力を重ねていきたい。

② 自己点検・評価報告書

令和5年度が開設初年度であり、報告書は未作成。なお、毎年度作成している大学中長期計画進捗状況報告書の「学部別戦略」において自己点検・評価を行っている。

a 公表（予定）時期

令和5年度開設のため報告書未作成。公表も未実施。

b 公表方法

令和5年度開設のため報告書未作成。公表も未実施。

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和4（2022）年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）の評価を受審した。
- ・ 次回受審については、令和11（2029）年度を計画している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 ☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。